

令和元年度 シマフクロウ保護増殖検討会資料に関する委員からの意見等取りまとめ（公開用）

No.	資料番号 (資料作成者)	参考資料番号	分類	内 容	回 答
1	検討会の公開について (環境省)		質問	公開対象：マスコミ等に傍聴を許可しているが、マスコミ以外で傍聴を希望する個人、団体は想定していないのか。マスコミ以外の傍聴希望者はフリーかあるいは何らかの選定基準を設けるのか	マスコミ以外で傍聴を希望する個人、団体も想定しておりましたが、会場の都合から、他の検討会と同様に、マスコミ以外では先着順で10名程度を受け入れる予定でした。(環境省)
2	資料1-2 (北海道森林管理局)	参考資料9	意見	このプロジェクトでは平取町、平取アイヌ協会、北海道森林管理局の3者で取り組むとなっている。しかし森林だけではなく、水域も対象とした管理が必要なため、水域を所管する関係者にオブザーバーとして参加してもらってはどうか。また北海道管理の河川が含まれるのであれば、北海道にもオブザーバーとして参加してもらった方がよいと考える。	ご意見のとおり、水域を管理する組織は、シマフクロウ生息地管理にとって重要であることから、今後、相手方との調整を図りながら検討したいと思います。(北海道森林管理局)
3	資料1-2 (北海道森林管理局)	参考資料9	質問	(確認) 参考資料9 2p.3 (3) 森林環境の改善 「針葉樹人工林については自然に生える広葉樹などを生かして種多様性の高い人工林に変えていくとともに、約半分は天然林化する方針」の前半と後半の相違についての確認です。後半の人工林を天然林化する、とは、人為的に植えた針葉樹はいずれ全て除去して自然に生える樹木だけの森林に誘導する、ということでしょうか。前者は、自然に生えた広葉樹は伐らないが将来的にも針葉樹の人工林を維持する、と理解して間違いないでしょうか。	ご意見については、およそそのとおりですが、人工林を天然林化する際に、人為的に植えた針葉樹を全て除去することまでは考えておらず、自然の推移にゆだねつつ必要に応じて伐採していく方針です。また、人工林を種多様性の高い人工林に変えていく際には、自然に生えてきた広葉樹を生かしていくことが有効と考えていますが、全く切らないわけではありません。(北海道森林管理局)
4	資料1-3 (釧路市動物園)		質問	(質問) 資料1-3 3.個体群管理上の課題 (1) 「飼育施設数は足りない」とありますが、何に比して「足りない」のでしょうか。もし、目標とする飼育施設数が設定されているならご教示ください。また、道外の飼育施設の中でシマフクロウ飼育を希望している施設は現時点でいくつかあるのでしょうか。希望施設はあるものの、飼育ケージの不足等で環境が整わないのですか。	飼育下で血統管理をし個体群を維持する場合に必要な飼育園館数と飼育個体数。平成22年の「飼育下個体群の維持・充実計画書(案)」による。野生由来繁殖ペア10ペア、道内飼育4園で各2ペア、その他で2ペアの飼育。とすると個体数、飼育園数ともに不足と考える。ただ、飼育下個体群の維持については内容を再検討中。(釧路市動物園)
5	資料1-3 (釧路市動物園)		質問	(質問) 資料1-3 3.個体群管理上の課題 (2) 「飼育数は足りない」のは何に比べて「足りない」のでしょうか。	同上
6	資料3 (環境省)		意見	4 シマフクロウとの関わり方のルール(案) 「シマフクロウは繁殖成功率の低い鳥です」は、他の大型猛禽類と比較して低いとは言い切れませんし、この一文が無くても主張に影響しないので削除してはいかがですか。	他の大型猛禽類との比較ではなく、他の鳥類一般と比較として、貴重な繁殖機会を少しでも邪魔されないようにという意味でも重要な情報かと考えますので、このまま残します。(環境省)
7	資料3 (環境省)		意見	5 リーフレットに載せる保護の取組(案) *全般に言葉がとても固いので、写真や図表でわかりやすいものにしてください。	ご意見を踏まえて修正した案を作成します。(環境省)
8	資料3 (環境省)		意見	5 リーフレットに載せる保護の取組(案) (5) 生息環境整備 「関係機関と連携」のような行政言葉は一般市民向けリーフレットには不適だと思えます。全体的にもっと柔らかくしていただきたい。	ご意見を踏まえて修正した案を作成します。(環境省)